

私たちは いなべ市 と共に歩んでいます



=安全・環境経営レポート=



お客様へ **安心・安全・確実**をお届けします  
地球環境へ 資源化を通じて**優しさ**をお届けします

**エス・エヌ・ケー・テクノ株式会社**

平成 18 年 9 月

わたしたちが扱う廃棄物は大切な資源です。従って、収集運搬から資源化までの全工程において、一人一人が大切な資源として取扱っています。

また、経営面においても「環境と企業経営は、対立する軸ではなく、同軸でとらえる環境経営の推進こそが、地域社会や顧客の信頼を得られ、企業活動が進展する」との考えで企業活動を展開します。

こうした理念のもと、お客様に対し、また、地球環境に対し右記の約束を行い実行します。

わたしの約束



お客様へ  
安心・安全・确实をお届けします

地球環境へ  
資源化を通じて優しさをお届けします

代表取締役社長 生川好彦

事業概要

- 企業活動から発生する廃油・廃酸・廃アルカリ・タンクスラッジ・廃溶剤等をブレンドし、セメント工場での補助燃料として再生処理して供給（自社開発処理プラント）
- 企業活動等から発生する汚泥・ばいじん等をセメント原燃料として供給

産業廃棄物の中間処理（営業品目）

産業廃棄物 汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・ばいじん  
特別管理産業廃棄物 引火性廃油・腐食性廃酸・腐食性廃アルカリ

産業廃棄物の収集運搬（三重県内営業品目）

産業廃棄物 燃え殻・廃酸・廃アルカリ・木くず・動植物性残さ・金属くず・ガラスくず等・鋳さい・がれき類・汚泥・廃プラスチック類・廃油・ばいじん  
特別管理産業廃棄物 引火性廃油・腐食性廃酸・腐食性廃アルカリ・特定有害廃油・特定有害汚泥  
※三重県のほか、相模原市・福井県・岐阜県・岐阜市・愛知県・名古屋市・豊田市・岡崎市・滋賀県・大阪府・大阪市・堺市・高槻市・岡山県・福山市の6府県9市について許可取得（営業品目は、各自治体で異なります。）

船舶廃油処理事業（四日市港の特定の岸壁利用）

いわゆる船舶洗浄水の処理事業です。中部マリン・サービス(株)及び日本トランスシティ(株)との連携事業であり、四日市港で唯一、船舶を特定せず廃油処理事業を行う事業者です。（これまでは、わざわざ関東や関西地区に運搬し陸揚げ処理せざるを得ませんでした。）

エス・エヌ・ケー・テクノ株式会社

所在地 統括本部 〒510-0814 三重県四日市市清水町4番45号  
TEL059-332-3711 FAX059-332-2132  
北勢工場 〒511-0417 三重県いなべ市北勢町瀬木松之下633番地  
TEL0594-72-7850 FAX0594-72-7851

設立 平成12年3月1日  
新日本技研(株)から環境事業部門を分社（通算事業実績31年超）

事業規模 資本金 3,000万円  
社員 43人（平成18年3月31日決算日現在）  
売上高 1,027百万円（同上）

区分	決算年度 (3月末)	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
社員数(人)		30	32	39	42	43
売上高(百万円)		765	904	1,042	964	1,027

許可・資格等

- 産業廃棄物処分業許可（平成17年5月23日～平成22年5月22日有効・三重県知事）
- 特別管理産業廃棄物処分業許可（同上）
- 産業廃棄物収集運搬業許可（平成17年6月15日～平成22年6月14日有効・三重県知事）
- 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可（同上）
- 一般貨物自動車運送事業・第一種利用運送事業許可（中部運輸局長）
- 船舶廃油処理事業許可（中部運輸局長）
- 北勢工場・三重県産業廃棄物税条例の認定「再生施設」
- ISO14001 認証取得（2004年11月1日北勢工場取得・2005年11月10日全社拡大認証取得）
- 平成17年3月25日（財）産業廃棄物処理事業振興財団・産業廃棄物処理業経営塾優秀賞（生川好彦受賞）
- 平成17年6月14日（社）全国産業廃棄物連合会地方功労者表彰（生川好彦受賞）
- 三重県環境森林部「企業環境ネットワーク・みえ」会員
- みえ・グリーン購入クラブ会員 グリーン購入ネットワーク会員

○ 信頼と協働で結ばれる継続的な企業間の連携があります

「わたしの約束」を果たすために、安定・継続的な資源化の経営理念で取り組めます。



産業廃棄物の排出企業、廃棄物処理業者、資源化製品利用企業の三者間の営業取引において、三者のいずれかが

一時の利害や自己の利益のみ追求する一人勝ちの経営では、安定・継続的な資源化への取組は確立されません。

資源の循環は、経営の循環なくして成立しないと考えます。

連携企業が協働して、安定・継続できる経営を理念として取り組んでいます。

創業以来、太平洋セメント(株)藤原工場様とは、こうした理念のもと協働・連携させていただき、平成 17 年度においてもお取引先 805 社の北勢工場への搬入廃棄物について再資源化し有益な取組ができましたことに感謝します。今後とも安定・継続的な連携をお願いします。

エス・エヌ・ケー・テクノ(株)

代表取締役社長 生川好彦

循環型社会構築へ



持続可能な地球の未来を拓く先導役として、セメント産業が循環型社会構築への貢献を進めます。

エス・エヌ・ケー・テクノ(株)グループ等とも協働・連携して事業活動を展開しています。

太平洋セメント(株)藤原工場

工場長 石澤 清

船舶廃油処理事業

中部マリン・サービス(株)

日本トランスシティ(株)

エス・エヌ・ケー・テクノ(株)

三社が連携し、四日市港に入港する船舶の船舶洗浄水処理事業を行うことについて中部運輸局長の許可を得、体制が整いました。これまで、わざわざ関東や関西地区に運搬し処理せざるを得ませんでした。入港船舶の利便と海洋の環境保全に取り組めます。

太平洋セメント(株)藤原工場

97% 超の再資源化  
(45,874 トン)

その他

3% 未満の適正処理  
(1,085 トン)

未来を保守点検



廃棄物は、安全・安心・確実な処理とともに、環境保全や資源保護に貢献する処理が大切です。

この理念を更に発展させるべく、新日本技研(株)から環境事業部門を分社し、エス・エヌ・ケー・テクノ(株)を設立しました。

一層の連携を図り、目的達成のための企業活動を展開します。

新日本技研(株)

代表取締役社長 伊藤 暁

ウイズ・ネット(株)

新日本技研(株)

関連会社

エス・エヌ・ケー・テクノ(株)北勢工場

社会に貢献できる創意工夫の実行提案が使命です。

- 産業廃棄物の処理、有効利用等の企画、調査等
- 保守、維持管理等の企画、調査等
- 人材派遣業

既存業種の隙間を埋める技術と創意が必要です。隙間には、危険やお客様の不満が存在します。石油化学コンビナート内のメンテナンス、定期修理等で培った安全管理や処理の技術・経験で社会貢献します。

エス・エヌ・ケー・テクノ(株)北勢工場への廃棄物搬入

お取引先 805 社 (平成 17 年度受託処理実績分) 前年度 769 社

化学工業、石油製品製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、繊維工業、鉱業……等幅広い企業からお取引いただいています。

○わたしたちの廃棄物収集運搬理念です

わたし達が収集運搬する廃棄物は、ほとんど再資源化されます。従って、わたし達は、大切な資源を収集運搬していると考え、行動します。赤い車両に安全・適正な収集運搬の決意を込めて、一人一人が大切な資源として取扱っていきます。



平ボディー車

バキューム車

安全・適切な収集運搬を行うため6種類・24台の車両を保有しています。

- ・圧送車 ・バキューム車 ・フックロール車 ・ローリー車 ・ダンプ車 ・平ボディー車

安全・適正な収集運搬体制づくり

●安全衛生会議の開催（毎月一回）

廃棄物の収集運搬を担当する営業部門の担当者と運輸部門乗務員が安全・適正な収集運搬を行うため、その時々課題について協議、確認し行動の徹底を図る。

- （事例）
- ・事故回避のための運搬車荷降し毎のタンク内洗浄について
  - ・収集運搬車両の構造説明と安全取扱について
  - ・ISO14001 目標（暖気運転の削減等）の取組について

●安全研修大会（毎年一回）

毎年一回は、運輸部門乗務員全員と運行管理者との意見交換や外部講師による講演等の機会を持って安全意識の高揚を図る。

- |     |   |
|-----|---|
| 開催日 | 平成18年2月18日（土）   |
| 参加者 | 社長、担当部長、工場長その他運行管理者及び乗務員  |
| 内容  | 外部講師による最近の事故の状況、安全運転と防衛運転、改正道交法等についての講演や高速道路での運転に関するビデオ上映、意見交換等 |

○お客様と協働する安全・確かな品質管理の体制が大切と考えます

産業廃棄物の排出事業者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、委託した産業廃棄物の最終処分が終了するまで、廃棄物の処理が適正に行われるために必要な措置を講じるよう努めなければならないと規定されています。わたし達は、この「排出事業者責任」と「産業廃棄物処理業者責任」をともに果たせる体制が大切と考え取り組んでいます。



北勢工場内に試験分析室を設置

- 再資源化利用推進のための品質確保
  - 的確な判断による適正処理方法の選択
- 塩素計、熱量計等の分析機器を試験分析室に設置しています。なお、平成18年内に蛍光エックス線分析装置を導入し、分析機能の充実を図る予定です。ここでは、お客様からの分析依頼、契約前の事前分析、原料受入分析、半製品分析、最終分析を行い、確かな品質管理を行うための品質データの採取を行っています。
- 「廃棄物データシート（WDS）」
- お客様には「廃棄物データシート」のご提出をお願いしています。双方の協力が廃棄物の再資源化や適正処理を進めます。

試験分析室での環境配慮

- 測定後のサンプル、試薬等の約90%は、セメントの燃料として再資源化（試験分析室から発生する廃液は、分析器具の洗浄水のみ）
- サンプル等から発生する臭気は、独自の脱臭スクラバーによってほとんど無臭
- pHメーターでの測定の場合、消耗品廃棄物の環境負荷が試験紙より大きいためなるべく試験紙で測定
- タグ密閉式自動引火点測定器は省エネタイプの冷却水循環装置を使用

○安全を支える技術と人材が大切と考えます

多様な資格・免許を有する人材があります。また、新日本技研(株)との連携で、更に幅広い安全処理体制を構築しています。

安全・環境関係資格、免許等の例

- |                   |                       |                   |
|-------------------|-----------------------|-------------------|
| ・危険物取扱者（乙種1～6類）   | ・有機溶剤作業主任者            | ・産業廃棄物中間処理施設技術管理士 |
| ・消防設備士（乙種1・6類）    | ・第一種压力容器取扱作業主任者       | ・水質関係第一種公害防止管理者   |
| ・運行管理者            | ・建築物環境衛生管理技術者         | ・硫化水素危険作業主任者      |
| ・産業洗浄(化学洗浄作業)技能検定 | ・高圧ガス製造保安責任者（乙種機械・化学） | ・特定化学物質等作業主任者     |
| ・酸素欠乏危険作業主任者      | ・衛生管理者                | ・地下タンク等に係る定期点検技術者 |

・・・など

○北勢工場取扱廃棄物の97%超を再資源化しました

平成17年度にお取引先805社から処理委託され、北勢工場へ搬入された廃油、廃酸、廃アルカリ、タンクスラッジ、廃溶剤等につきましては、自社開発した北勢工場の処理プラントでブレンドし、補助燃料に再生処理（中間処理）して、45,874トン太平洋セメント(株)藤原工場へ供給しました。

廃油等の補助燃料への再生処理（中間処理）工程（詳細はP10.11参照）

1. お客様から集荷した廃油等から異物を除去し、化学的、物理的特性に応じて種別タンクに仕分けして貯蔵
2. 製品企画に適合する調合割合で混合・攪拌するなどして製品化
3. セメント焼成工程のロータリーキルンの補助燃料として燃焼処理  
高温燃焼（1,450℃超）により、ダイオキシン等の有害物質の生成は完全抑制

廃油等の再生処理による補助燃料の量とエネルギー寄与

平成17年度 補助燃料生産量 45,874トン  
 （補助燃料は、重量ベースで石炭とほぼ同程度のエネルギーを生み出します）

廃油等の再生処理による補助燃料の量（年度推移）

年度(平成)	補助燃料生産量(トン)
17年度	45,874
16年度	49,677
15年度	42,346
14年度	33,973

北勢工場全景



第一工場 平成12年6月営業開始



第二工場 平成15年5月操業

- ☆ 自社開発した処理プラントです
- ☆ ISO14001 認証取得工場です
- ☆ 三重県産業廃棄物税条例の「再生施設」です
- ☆ 船舶廃油処理業の廃油処理施設です

○汚泥等のセメント原燃料化にも取り組んでいます

汚泥等については、その特性により施設設備の整備状況や処理コストなどから容易に資源化できないものがたくさんあります。こうした汚泥等の資源化に向けて、太平洋セメント(株)藤原工場様や関連会社のウィズ・ネット(株)と連携・協働して取り組んでいます。

(単位：トン)

年度(平成)	廃棄物区分			計(資源化実績)
	汚泥	ばいじん	その他	
17年度	3,478	13,574	479	17,531
16年度	2,827	11,719	475	15,021
15年度	3,324	13,135	282	16,741
14年度	3,207	14,847	329	18,383
13年度	3,641	17,094	153	20,888

# 廃油等の補助燃料への再生処理（中間処理）工程



ローリー荷下作業  
入荷した産廃は地下ピットへ投入



ドラム缶吸引処理作業  
バキューム車で吸引後地下ピットへ投入



タンクヤード

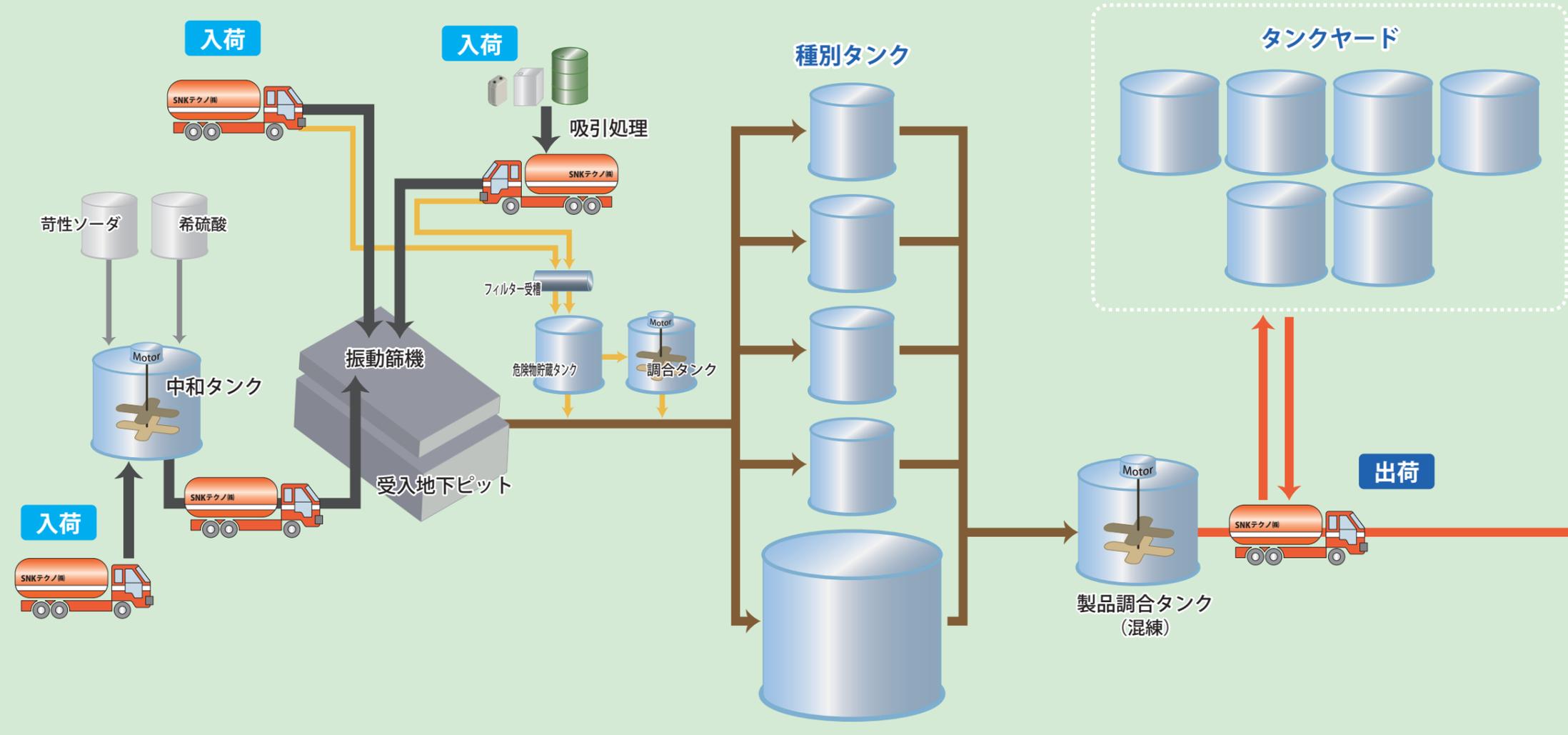


太平洋セメント(株)藤原工場 五号キルンタワー

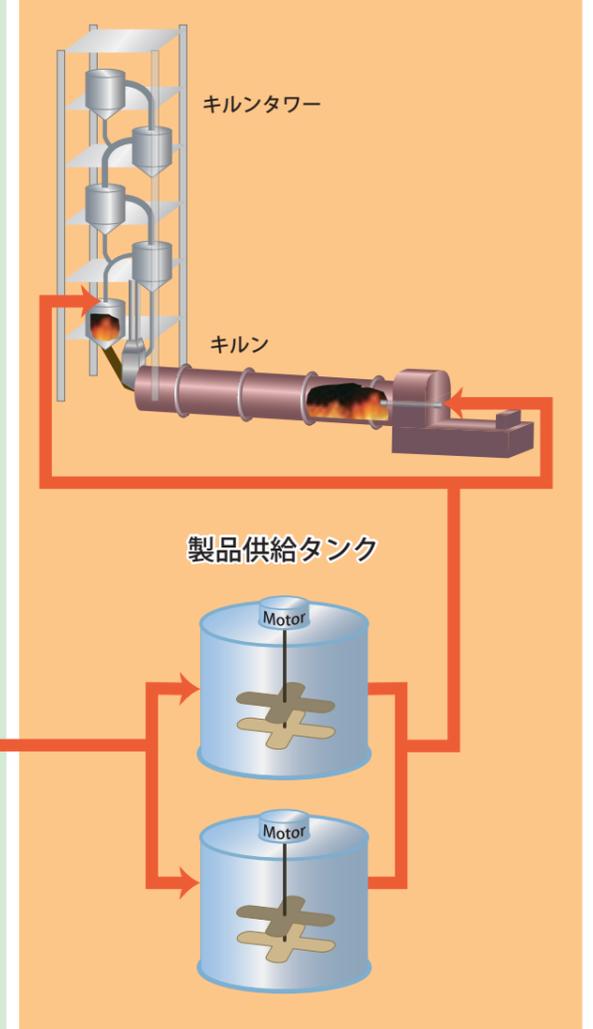


五号キルン

## エス・エヌ・ケー・テクノ(株)北勢工場



## 太平洋セメント(株)藤原工場



中和タンク 入荷した廃油を中和タンクへ投入し  
苛性ソーダまたは希硫酸により中和処理



種別タンク・製品調合タンク  
入荷した産廃を規定カロリーにブレンド



製品出荷作業  
ブレンドされた製品をローリー車へ積込・出荷



太平洋セメント(株)藤原工場内製品供給タンク  
出荷製品は製品供給タンクへ一時貯蔵



# 北勢工場の「安全」・「環境」対策と工場への環境クレーム

北勢工場は廃棄物の資源化処理プラントであり、この企業活動を通じて環境や地域社会に貢献できればと願っています。環境クレームについては発生しない事前の取組に努力していますが、平成17年度は、悪臭に対する環境クレームが2件ありました。

臭気対策は、北勢工場でも最も留意すべき事項の一つですので、ISO14001の環境目標（16～18年度）の中に下記の4項目の悪臭対策を定め、平成18年度中の脱臭設備の整備に取組みました（計画通り18年度中に全て完了の見込みです）。

環境クレームに対しては情報を開示し、ISO14001のツールを活用して、問題解決に向け全社的に展開します。

## 臭気対策

- 臭気の除去は、スクラバー方式（湿式）6連及び消臭剤散布設備の二重の対策を取り入れています（一部18年度整備）。



スクラバー方式脱臭装置

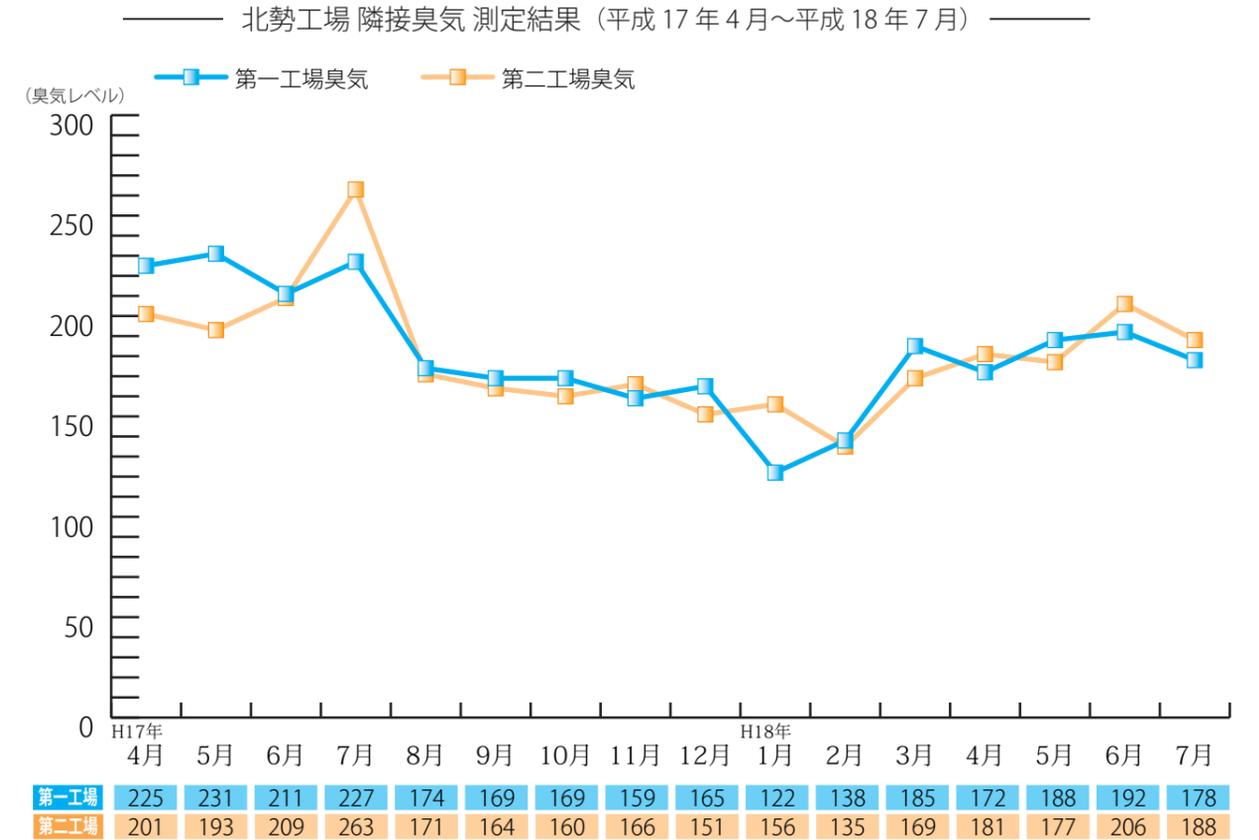
消臭剤散布設備

消臭剤散布設備

## ISO14001での悪臭対策環境目標

改善項目	環境目標		
	平成16年度目標	平成17年度目標	平成18年度目標
分析室内悪臭	データ収集	脱臭方法検討	脱臭設備完工
振動篩及び脱臭設備悪臭	データ収集	脱臭方法変更検討	脱臭設備改造
第二工場タンク拔出時悪臭	データ収集	データ収集	脱臭設備完工
タンク清掃時の悪臭	データ収集	脱臭方法検討	脱臭設備完工

## 北勢工場臭気測定データ



※測定頻度：原則として毎週1回（表示数値は月の平均値）

※測定機器：理研ポータブルニオイモニター OD-85

※測定値は各種のニオイの強弱（レベル）を数値で表示

適用される臭気レベルの基準はないが、現状程度においては問題を生じていない。

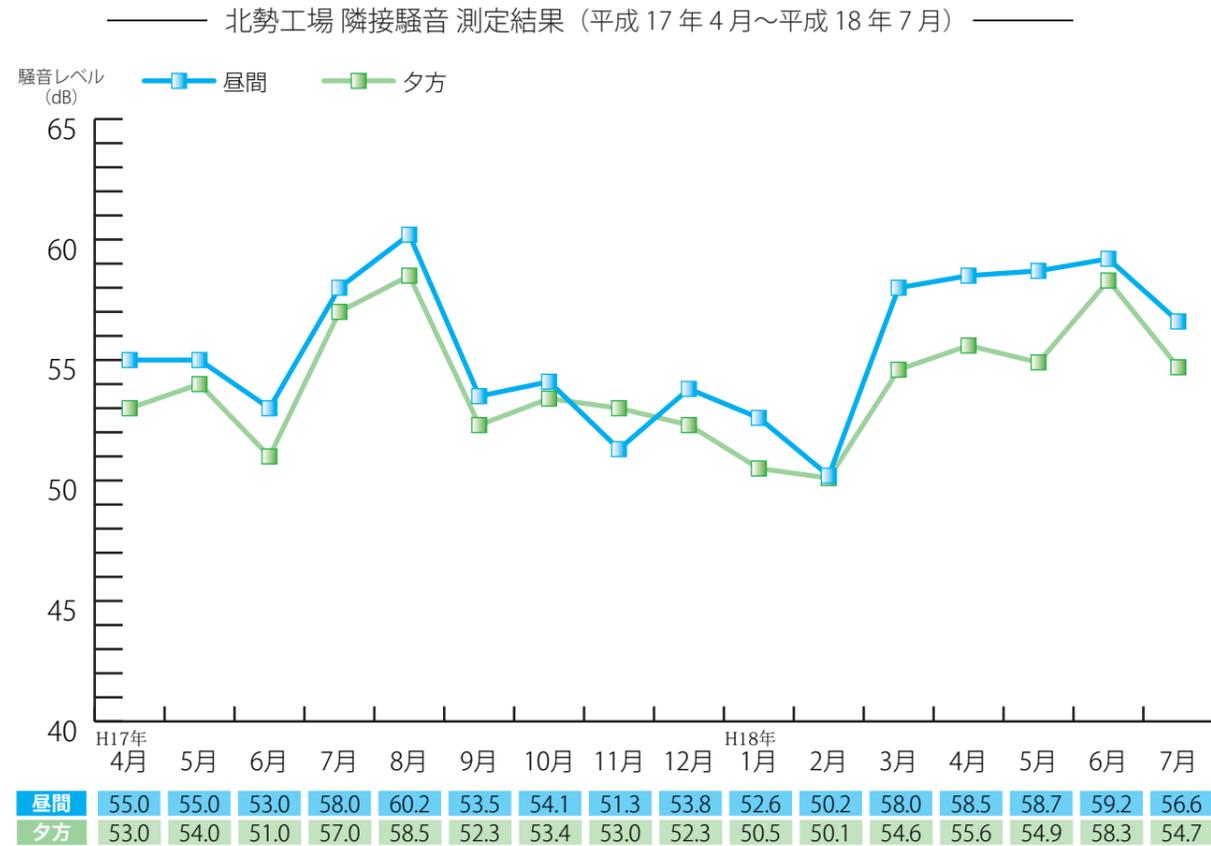
環境クレーム時等の臭気測定など測定データを集積し、適切な臭気レベルの把握と維持を行う方針です。

## 北勢工場環境クレーム（平成17年度 悪臭のみ2件）

発生日月	クレームの相手方	発生の状況	原因	対応措置
平成17年 6月28日	通行人	強臭の廃油をローリー車から地下ピットへ受け入れたとき、その臭いが工場外へ一時的に流出	通常受け入れている廃油より悪臭が強かった	直ちに当該廃油を処理し、以降、当該廃油の受入を中止している
平成17年 7月25日	近隣の企業	タンクへ貯蔵していた廃液中の悪臭ガスが気温の上昇とともにタンク外に流出	温度上昇に伴うこうした事例がなく、深く考慮していなかった	直ちに当該廃油を処理し、以降、当該廃油の受入を中止している

## 騒音対策

- 構造物での遮蔽壁（吸音板）の設置、アイドリングストップ、夜間作業は原則行わない等の対策を行っています。



※測定頻度：原則として毎月 1 回（昼・夕刻）  
 ※測定機器：アズワン(株) デジタル騒音計 SM-325  
 ※管理基準 昼間(工場稼働時)：65dB 以下  
 夕方：60dB 以下



工場長 藤村 等

「安全」・「環境」を北勢工場全社員の行動規範として取組み、工場の「安全」・「環境」対策を一層推進します

## 飛散・流出・浸透防止

- 防油堤、油水分離層の設置、コンクリート又はアスファルト舗装による浸透防止対策等を行っています。

## 防火対策

- 危険物タンクには泡消火設備、消火ポンプの設備があり、不測の事態に備えています。
- 火を使う工程はありません。

## 緑化対策

- 北勢工場は緑化面では不十分でしたので、工場周辺の緑化を逐次進めることとし、平成 17 年度は次の場所の植樹を行いました。

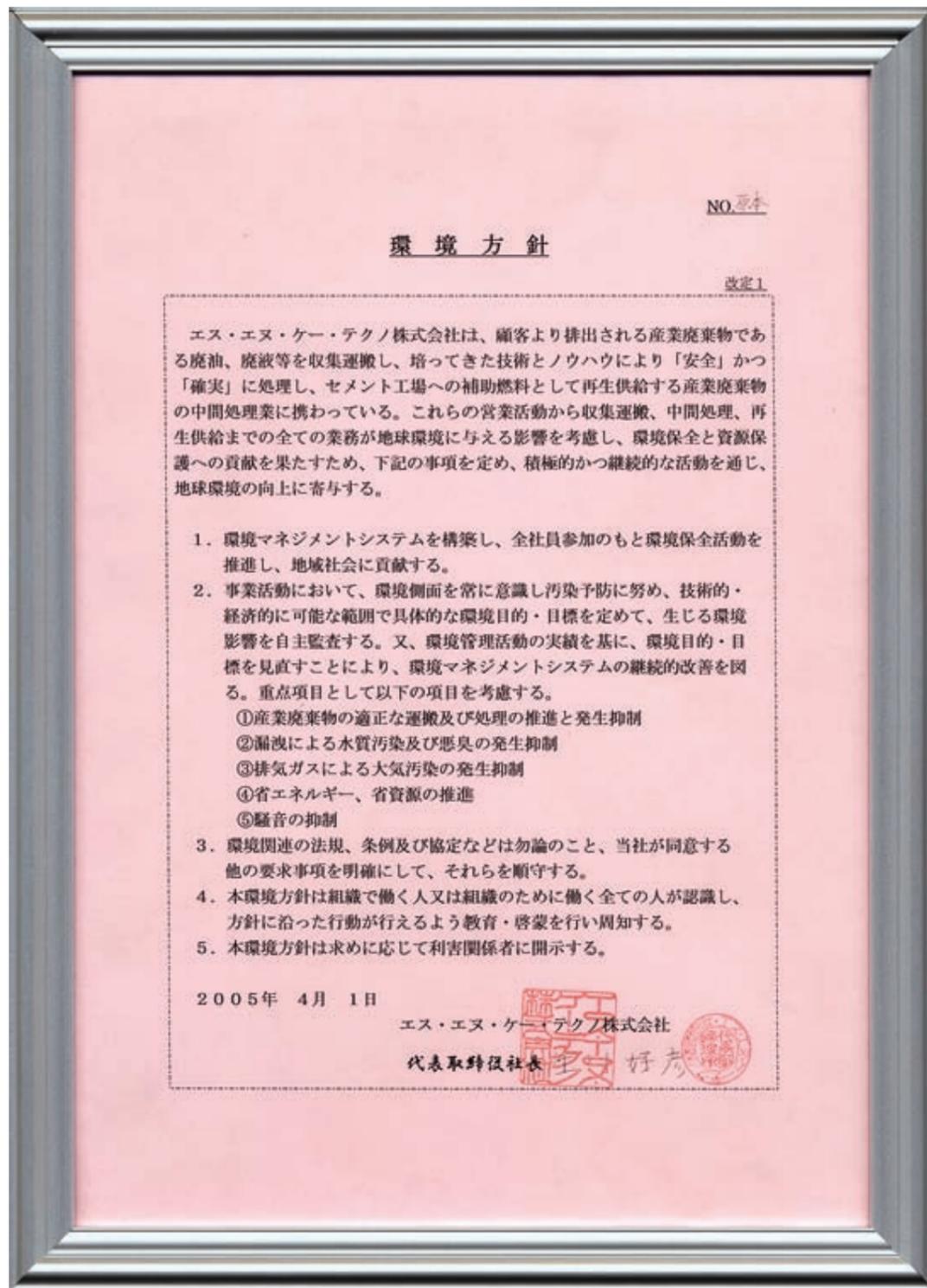


## その他

- 廃棄物の保管場所は、「小さいスペース・ゆとりある保管」の考えで運営しています。  
 「滞留させずにその日に処理する」ことを原則に運営することが、不測の事態にも備えられ、安全・環境保全に第一と考えるからです。
- 中間処理済みの一斗缶、ドラム缶等はリサイクルするシステムがあります。
- 無排水・無煙の処理システムです。

○ ISO14001 認証取得しました

2004年11月1日 北勢工場取得  
2005年11月10日 全社拡大認証取得



ISO14001 環境目標（平成16～18年度計画）の平成17年度実績

部門	目標項目	環境目的 (計画最終年度・18年度目標)	平成17年度		評価
			環境目標	実績	
北勢工場	電気機器の省エネ(事務)	16年度電気使用量実績の20%削減	16年度電気使用量実績の10%削減	5.3%削減	△
	用紙の使用量削減(事務)	15年度実績の40%削減	裏紙がある限り使用する	42.9%削減	○
	分析室内の悪臭対策	脱臭装置完工	脱臭方法検討・見積り	全て実施	○
	電気機器の省エネ(試験分析)	15年度電気使用量実績の3%削減	15年度電気使用量実績の2%削減	2.24%削減	○
	中和剤の削減	16年度実績の10%削減	データ解析 中和設備見積	データ解析完了	○
	電動機の省エネ	15年度電気使用量実績(原単位)の20%削減	15年度電気使用量実績の18%削減	17.4%削減	△
	振動篩及び脱臭設備の悪臭対策	脱臭設備の改造	脱臭方法の変更検討・見積り	全て実施	○
	第二工場タンク抜出時の悪臭対策	脱臭設備完工	データ収集	データ収集完了	○
	タンク清掃時の悪臭対策	脱臭設備完工	脱臭方法の検討・見積り	全て実施	○
営業部門・運輸部門	スラッジ発生量削減	発生量の15%を再資源化	発生量の10%を再資源化	13.4%削減	○
	電気機器の省エネ(営業)	17年度電気使用量実績の2%削減	メータ設備、データ収集	データ収集完了	○
	用紙の使用量削減(営業)	17年度実績の2%削減	メータ設備、データ収集	データ収集完了	○
	車両走行燃費の向上	17年度実績の1%削減	メータ設備、データ収集	データ収集完了	○
	電気機器の省エネ(運輸)	16年度電気使用量実績の0.3%削減	16年度実績の0.2%削減	11.8%削減	○
	トラックの暖気運転の削減	16年度実績(燃料・Nox・Co2)の42%削減	16年度実績の28%削減	28.8%削減	○

(注) ○達成 △未達成 ×未実行(今回該当なし)

今後の方針

- ISO14001 次期認証更新時には環境目標のレベルアップに取り組むこととして準備を進めています。

# 「安全」・「環境」が組織・全社員の行動規範です

## ○ 組織・全社員の「安全・環境」意識を高めるための取組です

### ● 経営トップと安全管理室による全職場の安全・環境パトロールの実施

実施日 2006年7月3日(この指摘事項是正確認8月10日・10月末までに完了確認予定)  
 実施者 生川社長他3名(指摘事項是正確認は安全管理室責任者等)  
 状況 7月3日の改善指摘事項36項目  
 8月10日は正確認時未是正事項9項目(一定の準備が必要なもの等)  
 毎年計画的に実施します



### ● 社会奉仕活動への参加

地域社会の一員としての認識や活動は、企業活動において大切な事項の一つだと考えます。今年も身近なことですが草刈りや清掃作業を行いました。更なる地域貢献事業への参加を考えたいと思います。

なお、このレポートの裏面に工場所在地のいなべ市の案内を掲載させていただきましたのも、様々な地域から工場見学に来ていただく皆様などにご紹介することで、少しでも地域に貢献したいとの思いからです。

統括本部(四日市市) 平成18年5月30日 草刈り・清掃作業(他企業と合同実施)  
 北勢工場(いなべ市) 平成18年5月30日 草刈り・清掃作業



### ● 営業担当が率先実行する環境への取組

☆クールビズでの営業活動  
 産業廃棄物の再資源化に取組む企業として、クールビズでの営業活動を行いました。

☆営業担当の環境問題等の定例研修(毎月一回・下記は研修課題例)

- ・営業マンのための基礎的な化学
- ・悪臭防止法の体系と三重県の規制地域の指定及び規制基準
- ・重量単位系から国際単位系(SI)へ
- ・汚染土壌の処理に係る法律や三重県生活環境の保全に関する条例等



### ● 「グリーン購入」への取組

- ・平成18年7月28日 みえグリーン購入クラブ・グリーン購入ネットワークに入会
- ・平成18年5月1日から①OA用紙・印刷用紙②文具・事務用品③照明ランプ④車両を対象に取組みを開始。ISO14001次期認証更新時に環境目標に具体的目標を明示し取組む予定

### ● 社員からの安全改善提案・標語募集

★安全標語応募(33名67件 優秀作品下記 ●6点)

- 少しの油断が命取り 危険はどこかに隠れている (坂井康彦)
- いつもの現場でいつもの作業 慣れた行動危険がひそむ (加藤正和)
- 危険予知 安全作業の第一歩 省かず目指すゼロ災害 (伊藤祐介)
- チョット待て「あせるな」「急ぐな」今一度、まわりを確認危険予知!! (小野重行)
- 右に安全左に健康 両輪揃えて無事故運転 (高田尚美)
- 気のゆるみ 危険がいつも狙っている 声かけあって守ろう「安全」 (興梶恵里)

★安全改善提案(21名27件)

### ● 初期消火訓練及び緊急連絡訓練の実施(平成17年9月8日訓練の状況)



### ● 安全に関する研修会の開催

日時 平成18年5月20日  
 講師 安全衛生指導員 阪井健二氏  
 内容 安全の意義について  
 ・その他  
 参加人員 46名



### ● その他

- ・ISO14001に関する教育・訓練
- ・各作業における危険予知訓練
- ・ヒヤリハット事例検討会
- ・職場安全衛生会議
- ・運転マニュアル説明(改正説明)会

## 環境コミュニケーションを大切に考えます

環境に関する情報を開示し、積極的に環境コミュニケーションを図ることにより、地域社会や顧客の信頼を得るとともに、自らの環境活動を継続的に改善する企業でありたいと考えます。

このための取組を一步一步着実に築き上げたいと進めています。  
皆様からのご意見をいただければと思います。

### ● ISO14001 認証取得

- 2004年11月1日 北勢工場取得
- 2005年11月10日 全社拡大認証取得 15項目の環境改善目標を設定して取組

はじめは、事業活動における環境負荷のほとんどを占める北勢工場において認証取得しました。しかし、当社の環境方針をお客様や地域の皆様にご理解いただくためには、営業活動にあたる社員はもとより、全社員がこれを理解し実行することが大切であるとの考えに至り、全社に拡大認証取得しました。

### ● ホームページ開設

事業活動のほか、環境への取組について幅広く公表

URL：<http://www.snk-techno.co.jp/>

### ● 環境報告書（「安全・環境経営レポート」）第二版の作成・公表

平成17年9月に第一回環境報告書（「安全・環境経営レポート」）を作成し、公表したの続き、今回、環境に関する積極的な情報の開示に留意して第二回目の環境報告書を作成し、公表しました。

この間、できるだけ環境改善活動に取組んできましたので、このことについては平成18年度の取組についても記載しました。

なお、この報告書は、今後、様々なご意見やご提案をいただきながら改善し、毎年発行することとしています。

### ● 工場見学（視察）の積極的受入

- 平成17年度 109社 196名の皆様にご視察いただきました。



### ● 三重県ホームページ「三重の環境と森林」生川社長インタビュー

三重の環境と森林 HP (<http://www.eco.pref.mie.jp>)「この人にインタビュー」のページに、企業活動における環境への取組について、様々な角度からのインタビューにお答えしております。平成16年5月3日の掲載です。

一度、ご覧いただければ幸いです。

### ● その他

- (財)産業廃棄物処理事業振興財団が実施する「産業廃棄物処理業者の優良性の判断に係る評価制度」に参加し情報公開
- 三重県環境森林部「企業環境ネットワーク・みえ」会員
- みえ・グリーン購入クラブ会員 グリーン購入ネットワーク会員
- 平成18年11月10日・11日に四日市ドームで開催されるリーディング産業展みえ2006（エネルギー・環境ゾーン）への出展決定

私たちこそが、心通わせ信頼を醸成する  
最良の環境コミュニケーションツールでありたいと行動します。



統括本部



北勢工場

### ※ 報告に当たっての基本的要件

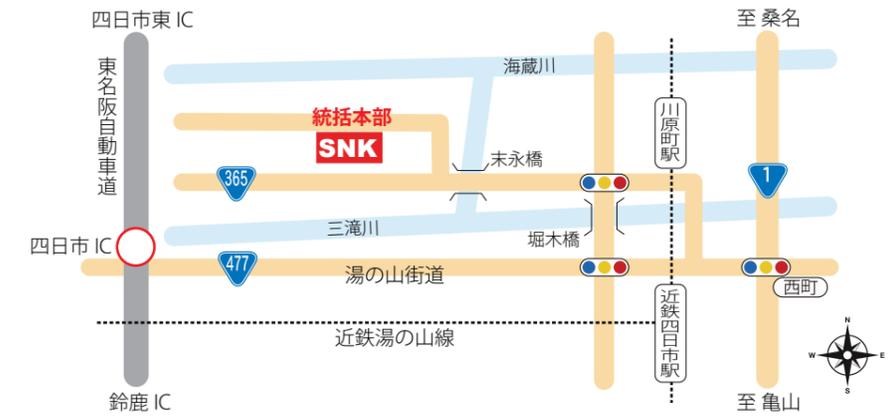
- **対象組織** 社員43名の小規模企業のため、会社全体を対象に、協働・連携する企業間の関係についても記載。
- **対象期間** 2005年4月～2006年3月を基本としていますが、一部にそれ以降の内容も記載して、現在の活動状況も報告しています。（第一回報告2005年9月、今回報告2006年9月、次回の報告予定2007年9月）
- **対象分野** 報告の基軸は環境的側面であるが、事業の性格上、「安全」と「環境経営」の理念を一体として捉える必要から「安全・環境経営レポート」として作成。

● 環境メモ

この報告書をご覧いただいたのご意見やご提案などをメモしていただき、お聞かせいただく機会があれば幸いです。

**統括本部** 三重県四日市市清水町4番45号  
 ☎510-0814 Tel 059-332-3711 Fax 059-332-2132

URL: <http://www.snk-techno.co.jp>  
 E-mail: [eigyoubu@snk-techno.co.jp](mailto:eigyoubu@snk-techno.co.jp)



東名阪「四日市IC」より 車で約15分 距離8km

**北勢工場** 三重県いなべ市北勢町瀬木松之下633番地  
 ☎511-0417 Tel 0594-72-7850 Fax 0594-72-7851



東名阪「桑名IC」より 車で約30分 距離18km  
 東名阪「四日市IC」より 車で約35分 距離22km  
 名神「関ヶ原IC」より 車で約35分 距離28km